

本市のものづくり産業の優位性を活かした競争力の強化や人材確保を図るとともに、地場産業の新事業展開や新たな創出など、産業が活性化し、発展するまちを目指します。

農業においては、農地集積や担い手の育成を図るとともに、生産性の高い基盤や農地の効率的な活用、新たな産品、特産品の開発などによりビジネス化の可能性を追求します。

## 産業・労働

### 主なご意見

- ・お金の補助というより経済の流れを動かして欲しい。備後国府通宝やバルチケットなど。【青年会議所】
- ・ものづくりのまちなので、いろんな職人さんをもう少し育成してほしい。本当に数が少なくなっている。【商工会議所女性会】
- ・今の子どもがすぐ言える有名な名物が少ない。諸毛のごぼうはすごいと言われるが、量が少ない。そういうものがないと、道の駅もスーパーと変わらない。府中の名産よ！と言えるものが何かあればいい。【商工会議所女性会】
- ・新入社員がどんどんやめていく。横の連携がない。上司だけ集まって話をする。【一般企業職員】
- ・上司にも話はしやすい。部署内ではわきあいあいだが、つながり、引継ぎができていないのが多々ある。働きにくい時も多々ある。【一般企業職員】

### 市長の意見・回答

- ・一次的な補助金による事業継続支援も行いつつ、お店にお客様が戻ってくる仕掛けを考えていきたい。商工会議所や商工会と連携し、タイミングを見ながら消費喚起策を打っていきたい。
- ・東高校にインテリア科があるがこの科は県内でも少なく貴重。県外からも問い合わせがあると聞いている。毎年何人かは家具や木工関係の会社に就職してくれている。高校と一緒に、もっと学生のときから関心を持ってもらえるような取り組みができないか検討し、関係機関と連携していきたい。また、府中のものづくり観光ツアーを企画したら、広島市などから体験型修学旅行として来ていただいているので将来の人材確保につながればいいと思っている。
- ・活力ある強い農業の実現のためにも『府中市ブランド』の創出は必要。生産方法のこだわりや加工を通じた付加価値化、観光事業との連携、流通の改善、PRの工夫等様々な角度から専門的な知見を活かしたブランド化を農業振興ビジョ

ンにおいて検討していくこととしている。半農半Xやお試し農業など多様な人材の農業の入口を下げる仕組みや、日常生活の利便性向上に結びつくアグリビジネスの展開、移住者をはじめ誰もが生き生きと活躍し、安心して暮らせる農村コミュニティづくりなどを検討しているところ。また、収穫時期に関係なく年間を通して提供できる「諸田ごぼう」を使った新たな料理の開発を府中市観光協会と連携し行っている。その他、新たなお土産物の開発に対しても観光チャレンジ補助金の補助対象とすることで奨励しているのでご活用いただきたい。

- ・企業等のロールモデルとなるよう、市が率先して働き方改革を実施し、企業等の働き方改革を牽引していく。また、現在男女共同参画プランを策定しており、企業の就労環境改善にむけた啓発などを今後実施していきたいと考えている。

## 令和 4 年度主な施政方針

- 中小企業・小規模企業振興基本条例を制定し、共同受発注や技術習得の機能を有したプラットフォームの構築を視野に、生産性向上の仕組みづくりをスタートさせる。
- 稼ぐ農業と農業関連ビジネス(アグリビジネス)の創出を目指し、担い手確保、共同化・スマート化、高付加価値化を進める。

子供を産み、育てやすい切れ目のない支援体制づくりを進めるとともに、幼少期から子供や家庭をもつ希望の大切さを伝え、次代を育みやすい環境を整えます。

児童生徒の確かな学力を身に付け、社会を生き抜く力を育むとともに、家庭や地域、学校が連携を図りながらふるさとに誇りや愛着をもった人づくりを進めます。

## 子育て

### 主なご意見

- ・ 保育園に通っている子は支援センターにかかれない。【一般企業職員】
- ・ 8時半からしか学童に預けられない。もう少し早い時間から預けられたらいい。【一般企業職員】
- ・ 子育て支援でごみ袋がもらえるが市役所へ取りに行く延長窓口が木曜だけとなっている点が不便。【一般企業職員】

### 市長の意見・回答

- ・ 府中天満屋2階「子育てステーションちゅちゅ」は、保育所等に入園されているお子様も含め、未就学児のご利用は可能なので、ご利用いただきたい。
- ・ これまでの要望を受け、平成31年度から放課後児童クラブの開設時間を延長し、午前8時から開設している。また終了時間も18時だったものを18時15分とした。「母子モ」や「My府中」のアプリケーションを始め、SNSなどで周知していく。
- ・ 府中天満屋2階「子育てステーションちゅちゅ」でも、ごみ袋の配布を開始した。月曜日を除く平日9:00~18:15（木曜日は19:00まで）、土日祝9:00~17:00まで開館しているので、ご利用いただきたい。
- ・ 本市の強みでもある「働きながら子育てができる」環境をより整えていきたい。また、児童生徒の学力向上に向け、小学生を対象とする「放課後ラーニング・サポート事業」（略称らんさぼ）を市独自の取組として令和4年度からスタートさせる予定なので今後の情報に関心を寄せていただき、開設の際にはご利用いただきたい。

## 令和 4 年度主な施政方針

- 「ちゅちゅ」に加え、中山間地域の新しいモデルとなる「上下地域共生交流センター(仮称)」をオープンさせ、府中版ネウボラの充実を進める。
- 放課後の学習支援の展開、特別教室等空調設備の整備など、児童生徒の「学ぶ意欲」と「確かな学力」の向上に取り組む。

まちなかや中山間地域の客気や賑わいづくりを進めるとともに、持続可能な都市基盤、道路交通ネットワークの利便性の向上を図ります。さらに、豊富な歴史資源や文化、ものづくり、食を活かす観光振興、スポーツによる地域の賑わいを創出します。

## スローライフ

### 主なご意見

- ・人混みに疲れたので田舎で適度に働いて、適度に土いじりをしたいと言う人もいます。【上下町在住者】
- ・今若い人が求めている、完全週休2日制や家族との時間を確保しながら仕事ができることなど、これからはそういったスローライフを求める人もたくさんいると思うので、そういう面を充実させてもらいたい。【上下町在住者】

### 市長の意見・回答

- ・働き方改革については、市民や企業を対象に行政として啓発等に取り組む。余暇の有効活用の視点では、今後市内のキャンプ場をバージョンアップさせる予定なので、自然を満喫しながら、ぜひとも家族や友人等と過ごしていただきたい。また、羽高湖・四季の里のキャンプ場にはワーケーション施設も設置しているのでご活用いただきたい。このほか、i-coreFUCHU や PicLike などでも駅周辺の賑わいも創出していくので、自然だけでなく、多様な過ごし方を楽しんでいただきたい。
- ・昨今、高まる地方回帰をチャンスと捉え、移住・定住の促進、関係人口の獲得などに向け、取り組みを充実させる。その一つとして、『府中市農業振興ビジョン』では、半農半Xやお試し農業など多様な担い手の確保に向け、農業の入口を下げる仕組み、日常生活の利便性向上に結び付くアグリビジネスの展開、移住者をはじめ誰もが生き生きと活躍し、安心して暮らせる農村コミュニティづくりなどを検討している。また、市内の農業地域に移住して観光振興に携わる場合は、新たな観光商品開発、受入環境整備等の取組みに対する市の補助制度である「観光チャレンジ補助金」を用意しているので利用していただきたい。

## 減税・補助

### 主なご意見

- ・府中市が若い世代を増やすため、減税するとか、家を立てるための補助金を出すようにしてほしい。【一般企業職員】

- ・岡田木材など連続で出店する継続支援があればもっとチャレンジが出来ると思う。【青年会議所】

### 市長の意見・回答

- ・若い世代の方に府中市を選んでもらうためには、住みやすいまちをつくらなければならないと考えている。子育て環境を強みと捉え、桜が丘団地においては、新たに土地を購入し新築する場合や子育て世代の方などを対象とした各種補助制度や東京 23 区にお住まいの方で、広島県マッチングサイトへ掲載されている企業へ就業し府中市に移住される場合の補助制度を用意している。
- ・少子高齢化対策・人口減少抑制に大きな要素を占める「住むこと」に焦点を当て、公営住宅が担う役割のあり方や官民が連携した住宅セーフティネット、成熟した団地の諸課題、子育て世帯、高齢者世帯、外国人といった属性に応じた住み方・住まい方について検証し、府中市に住みたい・住み続けたいライフスタイル重視の「住政策」を構築する。
- ・駅周辺の公共空間である広場等において、出店スペースの確保や電気、水道などのインフラ整備の面から、民間事業者の出店を支援し、持続的なにぎわいを創出したい。i-coreFUCHU やポムポム周辺などでもぜひいろんなことにチャレンジしていただきたい。
- ・市内外から意欲のある人材のユニークで先導的な提案を募り、その事業化を支援する「府中市ハッカソン」をスタートさせるので活用していただきたい。

## 交通

### 主なご意見

- ・60～70 歳代の女性は、結構行動力があるがそれを阻害している要因の一つは、道路整備がされてないこと。【商工会議所女性会】
- ・多少不便と感じるのは交通の便くらい。府中の良い点は自然もあって住みやすいまちだと思う。【青年会議所】
- ・電動キックボードの特区内にしてはどうか。観光は素晴らしいが、府中市はちょっとのところも車かバスか電車で駐車場は、どうするかとか手間。もう少し簡単にいけるように。【ミニコミ紙等】

### 市長の意見・回答

- ・中心市街地を中心に歩道の整備や歩車共存道路の整備を進めており、引き続き計画的に事業に取り組み、利便性や安全性の向上を図るよう、道路整備に努めるとともに、市民の行動力を後押しでできるようなストレスフリーで多様な移動手段を検討していきたい。
- ・ご意見のとおり、田舎の良さと都会の便利さを併せ持つ府中市の特性を生かし

たまちづくりを行っていかうと考えている。現在、路線バスの再編や乗り継ぎによる利便性が向上する取り組みを行っている。より、住みやすいと感じていただけるよう、交通空白地の解消を中心に市民や来街者の移動の利便性向上に努める。

・公共交通以外での移動の利便性を図るため、JR府中駅と上下駅の駐輪場に1回100円のレンタルサイクルを配置するとともに、電動アシスト付自転車を市内4箇所（府中市観光協会、同上下支部、羽高湖サン・スポーツランド、矢野温泉公園四季の里）に配備しているため、観光地巡りやサイクリングを楽しみたい方にご利用いただきたい。レンタルサイクルの他スローモビリティの活用や歩くことが楽しめる空間の整備が必要ではないかということで現在検討している。

## 駅周辺

### 主なご意見

- ・JRの駅前がすごくさみしい。だいたい駅の前というのは、観光案内や物産店や喫茶店や府中だとお好み焼きのお店などいろいろなお店があるが、府中の場合何も無い。

### 市長の意見・回答

- ・ご指摘のとおり駅はまちの玄関口でありシンボル。駅北エリアの恋しきや備後国府跡、歴史的まち並み等の誘客コンテンツをいかに充実・定着・拡大させるかがポイント。駅前広場整備などを通して、駅前の景観の向上を図るとともに駅南北間の導線を強化することで店舗などの出店を誘発したい。現在、駅前広場へのイベント情報案内板等による観光情報の発信をはじめ、レンタル自転車の配備等を行っている。駅周辺地区における観光案内については、観光客の利便性等を考慮するほか、「府中市グランドデザイン」の目指すべき姿に沿って進めていく。

## 文化振興

### 主なご意見

- ・音楽が好きなので、文化事業のなかで、本物のものが見られるところがほしい。音楽仲間の中で、三原ポポロと府中市文化センターをよく比較される。ポポロはすごい。中国地方でも有名。指定管理者がすごいミュージシャンを連れてくる。反対に、府中市文化センターは大ホール使うことがない。もったいないと思う。ジーベックが座席を直してくれていいホールになったのに。ホール自体はたいしてポポロともリーデンローズと変わらないと思うし、三原もそんなに大きい町ではないし、立地などの条件はよくないのに、集客力がある。やり方

次第で価値を上げていると思うので、せっかく一等地にある府中市文化センターの期待値を上げて欲しい。【商工会議所青年部】

- ・美術館があればいいなと思う。【商工会議所青年部】

### 市長の意見・回答

- ・文化センターは府中市の大切な文化施設であるが、大ホールの稼働率の低さが課題だと考えている。市民の皆さんに利用してもらい、身近な芸術に触れていただけるような地域密着型の魅力的な施設となるよう取り組む。
- ・新たな美術館を建設する予定はないが、i-coreFUCHU 2期整備では学びとチャレンジをテーマとし子どもから大人まで様々な作品が展示できるギャラリースペースの検討も進めている。この他、道の駅、駅南の広場など身近な場所に市民が製作した作品を展示するなど、誰もが身近に芸術に触れる機会を増やしアートフルな町を目指していきたい。

## 令和4年度主な施政方針

- 昨年7月にオープンした i-coreFUCHU、HAPPY SUNDAY MARKET や PicLike など府中駅南エリアで新しく芽生えている賑わいに、市民プールの建設、i-coreFUCHUへ新たなカフェの整備、道の駅レストランの魅力向上などを加え、駅南エリアが生まれ変わる取組を進める。
- スポーツの持つ価値・可能性を最大限発揮させるため、市民プールや芝生グラウンドの整備を進めるとともに、新たなスポーツ推進組織の構築を目指す。

自然災害や犯罪、感染症などの新たなリスクから市民の生命や財産を守ることができるよう、医療体制の維持・充実や市民の健康増進の拡大、自助・共助・公助による安全・安心なまちづくりを目指します。

## 医療

### 主なご意見

- ・府中市産婦人科がない。最後まで産める場所がほしい。医療の充実が必要。【一般企業職員】【青年会議所】

### 市長の意見・回答

- ・産婦人科が全国的に減っている。確保が難しい状態だが、最大限努力する。
- ・府中市内に医療機関の新規開設や継承を予定されている医師に、必要な経費の一部を補助する制度を用意しており、この補助金を使って府中市内に医療機関を開設していただいた実績もある。産科、小児科などを開設・承継する場合は、補助限度額を優遇することとしている。
- ・医療機関だけでなく、子どもに何かあった時にすぐ相談できる環境が求められており、そういったニーズに対応することで不安が少しでも解消し安心して子育てをする一助となるように、夜間や24時間対応可能な小児科・産婦人科オンライン相談を実施している。「医療機関を受診するかどうかわからないときに気軽に相談できる」「このサービスがあって助かる」といったご意見をいただき好評。今後もより多くの方に利用していただきたい。

## 令和4年度主な施政方針

- 3回目及び小児のワクチン接種ができるようスピード感を持って取り組み、医師会、保健所と緊密に連携して感染予防と万一の療養生活での不安軽減に向けてあらゆる手段を講じる。
- 日常からの健康づくり・フレイル予防のために「健康カルテ」を作成し、健康リスクの早期予防に取り組む。
- 中須ポンプ場の整備、地域防災力の強化など安全安心の基盤づくりを引き続き行う。

急速に進展する情報技術を本市の産業、暮らし、行政など、様々な分野を活かすため、5G等の高度情報基盤を整備するとともに、Society5.0を見据えた、幅広い分野での未来技術の導入モデルを展開し、ICT都市府中の実現を目指します。

### ICTの活用

#### 主なご意見

- ・憩いの場が見える化をするともっと人を呼び込むことが出来ると思う。例えば、広場にカメラが設置してあり、広場の混み合い度がカメラを通じて知れるなど。

【青年会議所】

#### 市長の意見・回答

- ・賑わいの拠点や居心地のいい区間づくりとして i-coreFUCHU や PicLike といった活動を通じて人を呼び込むことの取り組みを行っているところ。カメラによる混み具合の情報発信について、まずは今春オープンする府中市こどもの国公園の大型遊具で行う予定である。
- ・建物等の三次元形状とともに、用途や構造等の属性情報もモデル化した「3D都市モデル」は、官民の多様な領域で活用することで様々な展開が可能な基盤情報となるため県のモデル事業として構築に着手し、今後の都市活動のシュミレーションや分析、防災などでの利活用も見据え、オープンデータ化を促進する。

### 令和4年度主な施政方針

- DX基盤をより高度に活用して、市民サービスの質の向上と行政業務の生産性の向上を図るため、複数の行政サービス拠点をオンラインでつなぐICT化を進める。

各分野の一貫した市内外への戦略的な情報発信、プロモーションを推進するとともに、首都圏での情報発信の強化や人事や組織・企業等の有機的な連携を促進し、府中ファンの拡大を進めます。

### 情報発信

#### 主なご意見

- ・ SNS などを活用した広報の部分が弱い。観光課の会議へ参加させて頂いたが、SNS の 5 年後の目標数値が低かったのがショック。これが市の広報かと思ってしまったくらいだからこそ、その部分の強化を。周知、頻度を上げて来てもらうといい。【青年会議所】

#### 市長の意見・回答

- ・ 広報はしっかり考えていく必要がある。国府まつりは事前にしっかり告知を行っていった結果、1 万件を超え、評判があった。これを例にしっかり事前から告知を行っていく。
- ・ タイムリーな情報発信ができるツールの一つとしてアプリケーション「My 府中」を始動した。双方向のやりとりも可能であるため、ご活用いただきたい。
- ・ 今後、府中市の認知度を高め、市内外からの共感協働を獲得する上で必要となる「伝える」こと、そのための施策や事業をより深耕させていくため、市役所全体の広報に対する意識及びスキルの強化に取り組む。

### 入札・指定管理

#### 主なご意見

- ・ 指定管理者と市がそれぞれそれはあちらに言ってくださいという。【商工会議所女性会】
- ・ 施設指定管理者に任せっきりでだめだと思う。指定管理者同士が横のつながりをもっていないので、大事にして欲しい。道の駅とポムポムは距離が離れているが、連携すればうまくいくのではないかと思う。いこーれも同じで。【商工会議所青年部】

#### 市長の意見・回答

- ・ ワンストップで対応できるよう、管理手法等について指定管理者と情報共有を徹底する。施設の運営に関することは、基本的に指定管理者で判断するが、指定管理者が任されているもの以外の案件については、市が相談を受ける場合も

ある。

- ・基本的には指定管理者のノウハウや民間の活力を十分発揮してもらえばいいが、市の所有物なので市の責任は果たさないといけない。市と各指定管理者が連携し、施設運営に取り組む。

## 令和4年度主な施政方針

- 新たに広報ディレクターを配置し、市役所全体の広報に対する意識及びスキルを強化する。
- 町内会、地区社協、民生委員児童委員など各組織と行政と一緒に地域づくりに取り組める「新たな地域協働・自治振興」の仕組みづくりに向けた議論をスタートさせ、地域の拠点となる公民館の改革と機能強化に着手する。
- 市内外から意欲ある人材のユニークで先導的な提案を募り、その事業化を支援する「府中市ハッカソン」をスタートさせる。